

次頁以下に掲げる文章は、大村敬一「宇宙時代の自然Ⅱ社会哲学―社会生成の装置の過去・現在・未来」檜垣立哉編著『バイオサイエンス時代から考える人間の未来』（勁草書房、二〇一五年）から引用した文章（五三―七三頁）である。

この文章を読み、次の問いに答えなさい。

問一

筆者が「イヌイトの生業システムは生活世界の秩序全体を一挙に成立させるシステム」（傍線部②）だというのはなぜか。筆者の考えに即して、具体的に説明しなさい（二〇行以上三〇行以内）。

問二

筆者が述べる社会生成の装置は、人類が宇宙に進出した時代においても「有効に機能しつづけるのだろうか。それとも、何か新しい装置が必要とされるようになるのだろうか」（傍線部①）。この疑問に対する筆者の考えを、必要に応じて場合分けをして、理由とともに説明しなさい（二〇行以上三〇行以内）。